

2008年度 公共政策学教育部 交換留学生募集要項

	2007年度中に調印の予定 詳細は2月現在での予定です。			
協定校	 School of International and Public Affairs Columbia University コロンビア大学 国際公共政策大学院 (SIPA) http://www.sipa.columbia.edu/	 Lee Kuan Yew School of Public Policy シンガポール国立大学(NUS) リー・クワンユー公共政策大学院 (LKY-SPP) http://www.spp.nus.edu.sg/	 School of International Relations and Pacific Studies カリフォルニア大学サンディエゴ校 国際関係・環太平洋地域研究大学院 (IR/PS UCSD) http://irps.ucsd.edu/	 SciencesPo. パリ政治学院(シアンスポ) (Sciences Po.) http://www.sciences-po.fr/portail/fr-fr/international/english2/
所在地	アメリカ合衆国、ニューヨーク	シンガポール	アメリカ合衆国、カリフォルニア	フランス、パリ
募集期間	2008年2月14日～4月8日	2008年2月14日～4月8日	2008年2月14日～4月8日	2008年2月14日～4月8日
募集人数	1～2名	1～2名	1～2名	1～2名
派遣期間 *派遣人数によって期間 が変わります	①2008年9月～2008年12月 2008 Fall Term ②2008年9月～2009年6月 Academic Year 2008-2009	①2008年8月～2008年12月 2008 Semester 1 ②2008年8月～2009年5月 Academic Year 2008-2009	①2008年9月～2008年12月 2008 Fall Quarter ②2008年9月～2009年3月 2008 Fall&Winter Quarter ③2008年9月～2009年6月 Academic Year 2008-2009	①2008年9月～2009年2月 2008 Autumn Semester ②2009年3月～2009年6月 2009 Spring Semester ③2008年9月～2009年6月 Academic Year 2008-2009
東大での身分	「留学」			
派遣先での身分	特別聴講生(non-degree student)	特別聴講生(non-degree student)	特別聴講生(non-degree student)	特別聴講生(non-degree student)
授業料	派遣先では不徴収。東大では授業料を納入。			
単位認定	東大で「留学」の場合は、単位認定申請により認められた場合は認定。			
奨学金制度	東京大学国際学術交流活動等奨励事業による奨励費への申請可 **審査合格者のみ	東京大学国際学術交流活動等奨励事業による奨励費への申請可 **審査合格者のみ	東京大学国際学術交流活動等奨励事業による奨励費への申請可 **審査合格者のみ	東京大学国際学術交流活動等奨励事業による奨励費への申請可 **審査合格者のみ
応募資格	①東京大学公共政策学教育部に在籍する学生であること ②TOEFLスコア: CBT250点(iBT100点、PBT600点)以上が望ましい。最低でもCBT230点以上は必要。 ③基礎的なミクロ経済・マクロ経済を履修済みの者。	①東京大学公共政策学教育部に在籍する学生であること ②TOEFLスコア: CBT250点(iBT100点、PBT600点)以上が望ましい。最低でもCBT230点以上は必要。 ③基礎的なミクロ経済学を履修済みの者。	①東京大学公共政策学教育部に在籍する学生であること ②TOEFLスコア: CBT250点(iBT100点、PBT600点)以上が望ましい。最低でもCBT230点以上は必要。	①東京大学公共政策学教育部に在籍する学生であること ②TOEFLスコア: CBT213点(iBT80点、PBT550点)以上が必須。CBT230点以上が望ましい。

<p>応募書類 公共政策学教育部提出 用</p>	<p>①海外交換留学申請調書 DL ②成績証明書(英文) ③TOEFL成績証明書(写) *各大学への提出書類は合格者に直接通知する。</p>			
<p>応募書類提出先</p>	<p>公共政策学教育部 大学院係 e-mail:exchange08@pp.u-tokyo.ac.jp</p>			
<p>スケジュール(予定は変更される場合があります)</p>	<p>募集:2008年2月14日~4月8日 正午 書類選考:4月中旬 GraSPP教員の面接:4月中旬 GraSPP側での合格者決定:4月中旬 SIPA教員の面接(ある場合):4月中旬 SIPAへの書類提出:4月中旬(大学院係へ提出) SIPAより合格者決定:4月下旬 東大からの正式決定:5月~6月 ビザ手続き、その他準備:5~7月 出発:8月 授業開始:9月2日(火)</p>	<p>募集:2008年2月14日~4月8日 正午 書類選考:4月中旬 GraSPP教員の面接:4月中旬 GraSPP側での合格者決定:4月中旬 LKY-SPP教員の面接(ある場合):4月中旬 NUSへのオンライン申請:4月15日 LKY-SPPへの書類提出:5月1日(直接郵送) https://team.nus.edu.sg/registrar/info/ng/NGCheckList.pdf 東大からの正式決定:5月~6月 ビザ手続き、その他準備:5~7月 出発:8月 授業開始:8月11日(月)</p>	<p>募集:2008年2月14日~4月8日 正午 書類選考:4月中旬 GraSPP教員の面接:4月中旬 GraSPP側での合格者決定:4月中旬 *以下、詳細未定 IR/PS大学教員の面接(ある場合):4月中旬 IR/PSへの書類提出:未定 IR/PSより合格者決定:4月下旬(予定) 東大からの正式決定:5月中旬(予定) ビザ手続き、その他準備:5~7月 出発:9月 授業開始:9月25日(月)</p>	<p>募集:2008年2月14日~4月8日 正午 書類選考:4月中旬 GraSPP教員の面接:4月中旬 GraSPP側での合格者決定:4月中旬 シアンスポ教員の面接(ある場合):4月中旬 *以下、詳細未定 シアンスポへの書類提出:未定 シアンスポより合格者決定:4月下旬(予定) 東大からの正式決定:5月中旬(予定) ビザ手続き、その他準備:5~7月 出発:2008年9月・2009年2月 授業開始:①③9月28日(月) ②2009年3月3日(火)</p>
<p>注意事項</p>	<p>オンライン申請:4月15日 http://www.nus.edu.sg/registrar/edu/ng.html#applicationprocedures https://aces01.nus.edu.sg/ngAdmForm/index.jsp 5月1日(直接郵送) https://team.nus.edu.sg/registrar/info/ng/NGCheckList.pdf</p>			<p>オンラインの申請になるので後からの情報に注意が必要。</p>
<p>募集開始・応募締め切りについて</p>	<p>公共政策学教育部在学学生、新入生の募集期間は、2008年2月14日(木)~4月8日(火)正午です。応募および問い合わせはE-mailにて受け付けます。</p>			

大学別応募要領

特色	<p>コロンビア大学は、ニューヨーク市マンハッタン島にあることから、国際的ビジネス・国際金融センターに関連する分野、国際連合本部などを通じた国際開発分野などに、強みがあります。</p>	<p>LKY-SPPでは、東南アジア諸国からの留学生が多く学習しており、多くのアジア諸国の学生と肩を並べて学習できる利点があります。</p>	<p>カリフォルニア大学で唯一、米国と太平洋地域(アジア)の関係に焦点をおいた国際関係学の専門職大学院です。創立わずか20年ながら、Foreign Policy誌では国際政治分野でトップ10にランクされました。カリキュラムは国際関係、公共政策、およびマネジメントの各分野から学際的に構成されています。</p>	<p>フランス独自の制度、グランセコール(エリート養成のために国家が設置している高等教育研究機関)。9つあるシアンスポのうち、パリが一番古く、別格で、歴代フランス大統領などを数多く輩出してきました。即戦力となる幹部公務員や企業幹部の養成を目的としています。主にフランス語で行われる12専攻のほか、MPA、MBAの授業は英語のみで行われます。英語のMPA (Master of Public Affairs) の授業を受ける場合 (GraSPPからの派遣は主にMPAとMIA) は、職業経験のある学生、または少しでもフランス語の知識のある学生を歓迎します。</p>
参考HP	<p>http://www.sipa.columbia.edu/</p> <p>http://www.sipa.columbia.edu/academic/sipa_registration/registration_handbook.pdf</p>	<p>http://www.spp.nus.edu.sg/</p>	<p>http://irps.ucsd.edu/</p>	<p>http://www.sciences-po.fr/portail/fr-fr/international/english2/</p>
趣旨と前提条件	<p>この交換留学制度は、東京大学公共政策学教育部に在籍中の学生が対象です。なお、この留学制度の趣旨は、英語を上達させるための語学留学ではなく、すでに基礎学力があり、英語も十分できる学生が、その語学力を生かして東京大学公共政策学教育部とは異なる環境で学習することです。その趣旨を十分ご理解の上、応募ください。おもな前提条件は、TOEFL(コンピュータ・ベース)で250点、最低でも230点(シアンスポは213点)、ミクロ経済学の、又はミクロ・マクロ経済学の、最低基礎レベル(学部で学習済みでも可)を履修済みであることです。それは、一年時にミクロ経済学、またはミクロ・マクロ経済学の履修を義務付けているので、対等の基礎学力を前提とするためです。</p>			
履修済み前提	ミクロ・マクロ経済学	ミクロ経済学		
留学中の身分と授業料	<p>この交換留学制度では、東京大学においては、「留学」という身分で、協定大学へ留学していただきます。授業料は東京大学へ支払い、帰国後に協定大学において履修した科目を東京大学において単位認定する予定です。(現在は、帰国後に申請して認める方式をとっていますが、この交換留学制度においては、2年修了を確実にするために単位互換の条件付事前承認の可能性を探りますが、未だ決定ではありません。)協定大学は学位を取らない特別身分の学生(特別聴講生)で、協定大学へは授業料を支払いません。(現在、東大と協定大学とのダブル・ディグリー制度を導入すべく検討を進めていますが、大規模な制度調整が必要となりますので、2008年度はまだ実現できません。)</p> <p>東京大学では、入学後に「休学」という身分で、他大学院へ留学すると、休学期間は授業料を免除されますが、その期間は在学年数に算入されず、留学先で履修した科目を帰国後に単位認定することはできません。</p>			

<p>留学のモデルコース</p>	<p>留学して、単位互換のうえ、東京大学に戻り、東京大学公共政策学教育部での在学期間を2年間で終えるためには、次のようなモデルコースが考えられます。</p>			
	<p>留学期間は、最長1年間です。SIPAの授業期間は、おおよそ、秋学期は、9月第1週より12月まで、春学期は、1月下旬から5月です。 (A) 二年生が、秋学期の半年間のみ留学。帰国後3月に卒業。(B) (学部時代に十分な経済学を学習して入学した) 一年生が、秋学期より1年間留学、帰国後半年を経て卒業。 なお、東京大学での在籍が2年間以上になっても構わないという場合には、(C) 二年生の秋学期から一年間留学、という可能性もあります。 日程については、下記URLを参照してください。</p>	<p>留学期間は、最長1年間です。LKY-SPPの授業期間は、おおよそ、秋学期は、8月第2週より12月まで、春学期は、1月から5月です。 (A) 二年生が、秋学期の半年間のみ留学。帰国後3月に卒業。(B) (学部時代に十分な経済学を学習して入学した) 一年生が、秋学期より1年間留学、帰国後半年を経て卒業。 なお、東京大学での在籍が2年間以上になっても構わないという場合には、(C) 二年生の秋学期から一年間留学、という可能性もあります。 日程については、下記URLを参照してください。</p>	<p>留学期間は、最長1年間です。IR-PSの授業期間は、おおよそ、秋学期は、9月第4週より12月まで、冬学期は、1月下旬から3月まで、春学期は3月下旬から6月です。 (A) 二年生が、秋学期の3ヶ月間のみ留学。帰国後3月に卒業。(B) (学部時代に十分な経済学を学習して入学した) 一年生が、秋学期より3カ月間留学、帰国後一年半を経て卒業。(C) (学部時代に十分な経済学を学習して入学した) 一年生が、秋学期より6カ月間留学、帰国後、翌年3月に卒業。 なお、東京大学での在籍が2年間以上になっても構わないという場合には、(D) 二年生の秋学期から一年間留学、という可能性もあります。 日程については、下記URLを参照してください。</p>	<p>留学期間は、最長1年間です。シアンスポの授業期間は、おおよそ、秋学期は、9月第4週より2月まで、春学期は、3月第1週から6月です。 (A) 二年生が、秋学期の半年間のみ留学。帰国後3月に卒業。(B) (学部時代に十分な経済学を学習して入学した) 一年生が、秋学期より半年間留学、帰国後一年を経て卒業。(C) (学部時代に十分な経済学を学習して入学した) 一年生が、秋学期より1年間留学、帰国後半年を経て卒業。 なお、東京大学での在籍が2年間以上になっても構わないという場合には、(D) 二年生の秋学期から一年間留学、という可能性もあります。 日程については、下記URLを参照してください。</p>
<p>参考HP</p>	<p>http://www.columbia.edu/cu/registrar/docs/students/academic-calendar/year3.html#fall</p>	<p>https://team.nus.edu.sg/registrar/info/calendar/AY2008-2009.pdf</p>	<p>http://blink.ucsd.edu/Blink/External/Topics/Policy/0.1162.20489.00.html</p>	<p>http://www.sciences-po.fr/formation/calendriers/calendrier_2007_2008.htm</p>

費用	<p>前述のように、留学期間中の授業料は、東京大学に対して支払い、協定大学院では授業料免除の扱いを受けます。しかし、留学中の住居費、生活費、学生保険、施設利用料など、留学生として当然かかる経費はすべて自己負担となります。生活費や住宅事情は留学先により大きく異なりますので、各自リサーチをしてください。</p>			
参考HP	http://www.columbia.edu/cu/isso/incoming/	<p>学生寮は、抽選制です。このほか、学生専用の寮(一軒家をシェアする)も大学の近くにあります。寮の費用は日本円でひと月約6~7万円です。</p>	https://tritonlink.ucsd.edu/portal/site/ucsd/menuitem.e25088fc289ee30b4bb91c8ad74b01ca/?vgnextoid=d4e9dc247ef63110VgnVCM10000045b410acRCRD	http://www.dessciences-po.fr/europe-centre/welcome_programme//
各種保険の比較サイト	http://www.i-hoken.jp/			
留学先の提供する授業について *各大学のHPに掲載されています。 各自検索してください。	http://sipa.columbia.edu/academics/sipa_registration/mpa_registration_guide.pdf	http://www.spp.nus.edu.sg/degree_program_intro.htm	http://irps.ucsd.edu/academics/mpia-program/	http://www.sciences-po.fr/formation/master_scpo/cours_etudiants_echange.html
選抜方法と時期	<p>2008年度は、新2年生、新入生の募集を同時に始め、4月中旬に選抜を考えています。書類審査と面接審査の2段階となります。面接審査では、GraSPP教員の面接の他、Public Policy Education Forum 2008 (3/14・3/15)で来日中の協定大学院の教員との面接や、テレビ会議システム(予定)による面接となる可能性もあります。今後は、随時、情報提供をしていきますので、この掲示に気を付けてください。選抜後の登録手続きは、HPなどで確認の上、各自の責任において行ってください。</p> <p>なお、NUS-SPPにおいては、オンラインでの申請が必要です。締切は4/15、添付書類の提出締め切りは5/1となっていますので、注意してください。</p>			